



無線式ハンディターミナルを簡単導入 DB Bridge Manager Client RUNTIME for BHT



対応機種

BHT-500B/Qシリーズ

BHT-600B/Qシリーズ

BHT-800B/Qシリーズ(対応予定)

Rev.1.1 2009/02/01

By WELCOM DESIGN KK

DBブリッジマネージャ クライアントランタイムとは？

- 無線式ハンディターミナルをプログラミングすることなく、画面レイアウトやDB参照・更新を行うことができるミドルウェアです



- プログラミング知識不要、だから時間もコストも大幅削減可能

どうして時間もコストも削減できるの？

- DBブリッジマネージャとDBブリッジマネージャクライアントランタイムがあれば、様々な業務に即対応が可能
- ☆アドバンスドパック2(ADP2)購入不要
- ☆開発キット(BHT-BASIC)購入不要
- ☆プログラム開発にかかる時間・コスト不要
- ☆データベースやプログラム開発の知識不要

導入したいけど、何かと費用がかさむなあ～、...

普通は...

ADP2 又はBHT-BASIC、Microsoft Visual Studioなどを購入

プログラム開発(外注又は社内?)

... 外注は、コストも時間もかかる

... 社内は、時間もかかるし...

... データベースやプログラミング知識のある人材が...



で、導入にかかるコストと時間は？

BHT-BASIC購入費用 **100,000円** + MS-VS + α 時間は**未知数**

(*) 参照価格は、全て税別定価ベースです。

DBブリッジマネージャを使えば簡単

DBブリッジマネージャならこんなに簡単!!

DBブリッジマネージャをPCにセットアップ

DBブリッジマネージャをデータベースに合わせて設定

DBブリッジマネージャ専用メニューソフトでハンディターミナルの画面やデータベース参照・更新などを設定

設定したメニューファイルをハンディターミナルで受信

これで完了! 簡単ステップで即運用!!

で... コストはどれぐらい?

DBブリッジマネージャ(同時接続 5クライアント¥350,000~) +
クライアントランタイム(¥20,000) x クライアント台数分

(*) 参照価格は、全て税別定価ベースです。(**) WELCOMから購入したハードなら無償でクライアントランタイムを利用できます。

ついでには、
全ての費用を考えると
かなり割安になるって、
いいかな。



プログラム開発には
VB/VC/.NET/DB/SQLなどの知識
+
BHTシリーズAPIの知識が
必要なんです

何ができるの？



- 自由に業務メニューや入力項目を設定して、様々な業務に対応可能

☆業務メニューは、最大10個

☆各業務メニューには、下記の何れかの機能を割付可能

- ① 収集
- ② 更新
- ③ 消し込み
- ④ 照合
- ⑤ バーコードチェッカ
- ⑥ 設定
- ⑦ 終了



☆入力項目は、最大10個まで定義可能

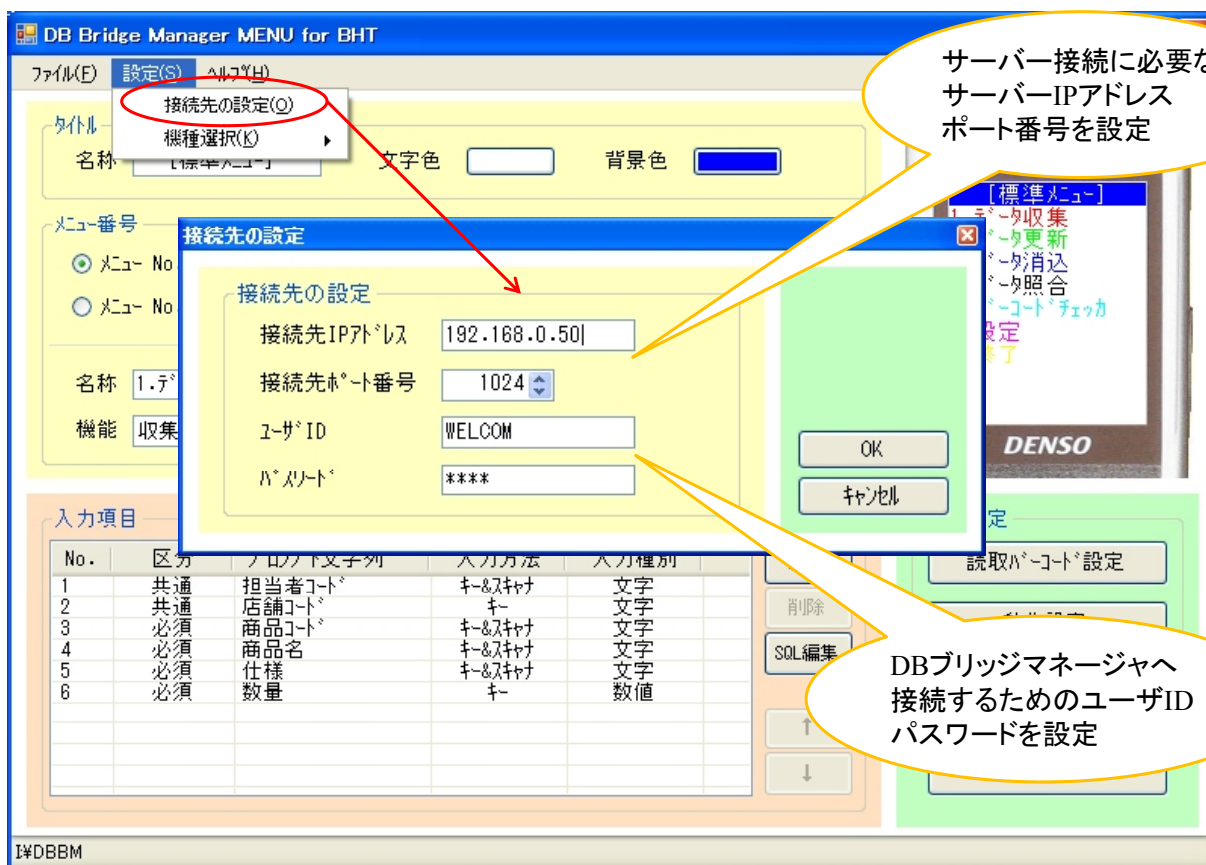
☆表示する文字・メッセージの色・背景色を指定可能

☆DB追加・参照・更新・削除SQLを自動生成(SQL知識不要)

☆SQLをマニュアル入力すれば、複雑な処理にも対応可能

☆2度読み取り防止機能

接続先の設定



サーバー接続に必要なサーバーIPアドレスポート番号を設定

DBブリッジマネージャへ接続するためのユーザIDパスワードを設定

(*) この接続設定は、本メニュー作成ツールとDBブリッジマネージャとの接続設定です

共通設定

DB Bridge Manager MENU for BHT

タイトル

名称 [サンプルメニュー] 文字色 [] 背景色 []

メニュー番号

メニュー No.1 メニュー No.2 メニュー No.3 メニュー No.4 メニュー No.5

メニュー No.6 メニュー No.7 メニュー No.8 メニュー No.9 メニュー No.10

名称 1.データ収集 文字色 [] 背景色 []

機能 収集 ENT確定 あり

共通設定

リーダ設定

読取りモード

読取り時の動作

読取りコード設定

読取りコード

COMPOSIT

共通商品コード

EAN-13/JAN-13/UPC-A

EAN-8/JAN-8

UPC-E

インタラプト2of5 (ITF)

Codebar (NW-7)

Code39

Code93

Code128/EAN-128

スクラプト2of5 (STF)

RSS

QRコード

共通設定

読取りコード設定

動作設定

保存

動作設定

入力エラー	フリーズ				メッセージ表示		
	長さ	音程	回数	ハイ	文字色	背景色	時間
収集処理OK	1	中	1	<input type="checkbox"/>	[]	[]	15
収集処理NG	1	高	5	<input checked="" type="checkbox"/>	[]	[]	0
更新処理OK	1	中	1	<input type="checkbox"/>	[]	[]	15
更新処理NG	1	高	5	<input checked="" type="checkbox"/>	[]	[]	0
消し込み処理OK	1	中	1	<input type="checkbox"/>	[]	[]	15
消し込み処理NG	1	高	5	<input checked="" type="checkbox"/>	[]	[]	0
照合処理OK	1	中	1	<input type="checkbox"/>	[]	[]	15
照合処理NG	1	高	5	<input checked="" type="checkbox"/>	[]	[]	0

(*) フリーズが不要な場合は、フリーズの長さを0に指定してください

(*) メッセージ表示でキー入力待ちにする場合は、メッセージ表示時間を0に指定してください

(*) フリーズの長さ、メッセージ表示時間の単位は100msecです

読取バーコードやメッセージ、ブザーなどの動作を設定

メイン画面

DB Bridge Manager Client MENU for BHT

タイトル

名称 [サンプルメニュー] 文字色 [] 背景色 []

メニュー番号

メニュー No.1 メニュー No.2 メニュー No.3 メニュー No.4 メニュー No.5

メニュー No.6 メニュー No.7 メニュー No.8 メニュー No.9 メニュー No.10

名称 1.データ収集 文字色 [] 背景色 []

機能 収集 ENT確定 あり

共通設定

色の設定

タイトルを入力します
文字色・背景色の指定が可能です

設定を行いたいメニュー番号を選択します

メニューの名称を入力します
文字色・背景色の指定が可能です

ダブルクリック又は「編集ボタン」で
入力項目の詳細設定が行えます

- メニューに割り当てたい機能を選択します
- 収集 : データベースにレコードを追加します
 - 更新 : データベースのレコードを更新します
 - 消し込み : データベースからレコードを削除します
 - 照合 : データベースとデータを照合します

入力項目の詳細設定

入力項目編集

入力名称
区分 共通
名称 店舗コード 文字色 背景色

入力方法
入力方法 キーボード リード設定
抽出開始位置 U 抽出桁数 1
二重入力チェック なし
先頭文字チェック T

入力種別
入力種別 文字
小数点桁数 0
最小桁数 2 最大桁数 2
初期値 T

データベース参照
データベースへの参照 する 参照設定

入力区分とプロンプトを入力します
文字色・背景色の指定が可能です

入力方法・2度読みチェック
先頭コードチェックの指定をします

「バーコード設定」クリックで
読取バーコードの詳細設定
が行えます

入力データの種別(文字・数値)・桁数・抽出条件
初期値の設定を行います
数値の場合、小数点の桁数設定も行えます

入力データを元にデータベースを参照したい場合に指定します
「参照設定」クリックでSQLコマンドの自動生成ウィンドウが開きます

データベースの参照設定

データベース参照設定

参照条件
SELECT句に続くSQL文を記述してください。
入力データを埋めこむ場合は入力順に以下の文字列に置き換えて記述してください。
[IN1], [IN2], [IN3] ... [IN8], [IN9], [IN10]

例) 商品名,数量 FROM 商品マスタ WHERE 商品コード='[IN1]'
取得したデータ商品名を表示文字列1に、数量を表示文字列2に表示します。
最大3項目分の情報が取得表示できます。

商品名,仕様,数量 FROM 商品マスタ WHERE 商品コード='[IN1]'

該当コードがある場合
表示文字列1 商品名 文字色 背景色
表示文字列2 仕様 文字色 背景色
表示文字列3 数量 文字色 背景色
処理 処理続行

該当コードがない場合
処理 再入力

SQL自動作成

マニュアルでSQLを編集することも
可能です

データベースの参照フィールドを
表示する際の固定文字列を入力します
文字色・背景色の指定が可能です

最大3フィールドまで参照可能です

参照SQL自動作成ウィザードを
起動します

該当レコードがある場合の処理を
処理続行・再入力・メニュー画面に戻るの
何れかに設定します

該当レコードがない場合の処理を
処理続行・再入力・メニュー画面に戻るの
何れかに設定します

参照SQL自動生成ウィザード

テーブルの指定
参照するテーブルを指定します

参照条件
SELECT句に続くSQL文を記述してください。
取得した入力データを埋めこむ場合は取得順に以下のように記述してください。
[IN1], [IN2], [IN3] ... [IN6], [IN7], [IN8], [IN9], [IN10]
例) 商品名,数量 FROM 商品マスタ WHERE 商品コード='[IN1]'
取得したデータの商品名を表示文字列1に、数量を表示文字列2に表示します。
最大3項目分の情報が取得表示できます。
商品名,仕様,数量 FROM 商品マスタ WHERE 商品コード='[IN1]'

条件キーフィールドの指定
キーフィールドを指定します

参照フィールドの指定
参照するフィールドを指定します

最大3フィールドまで参照指定することが可能です

(*) データベースとの接続設定は、DBブリッジマネージャ側で行います

SQL自動生成ウィザード

SQL編集

最後の入力項目が完了した時点で実行するSQLを作成します
↓ 更新のSQL例

No.	区分	フィールド/文字列	入力方法	入力種別	編集
1	必須	商品コード	リンク	文字	編集
2	必須	数量	キー	数値	削除

テーブルの指定
リンクするテーブルを指定します

フィールドの指定
リンクするフィールドを指定します

入力データの指定
リンクする入力データを指定します

(*) データベースとの接続設定は、DBブリッジマネージャ側で行います

SQL自動生成ウィザード

データ種類の設定

文字データと数値データが選択可能です
数値データの更新場合は、代入に加え、加算・減算が指定可能です

収集

指定テーブルにレコードを追加します

更新

指定テーブルからレコードを条件に従って抽出し、指定フィールドの更新を行います
マニュアルでSQLを編集することで、複数の四則演算など複雑な処理を実現することも可能です

消し込み

指定テーブルからレコードを条件に従って抽出し、そのレコードを削除します
複数条件をOR指定することで、条件に合致した複数レコードを一括削除することも可能です

照合

指定テーブルから条件にあったレコードが何件あるか抽出します

(*) データベースとの接続設定は、DBブリッジマネージャ側で行います

条件フィルタの設定

更新・消し込み・照合では、1つ又は、複数の条件をAND/OR指定してレコードを絞り込むことができます
複数条件でのレコードの絞り込みや複数レコードの一括削除を行う場合に役立ちます

例) 商品マスタ SET 数量=[IN3] WHERE 商品コード='[IN2]'
商品マスタ SET 数量=数量+[IN2] WHERE 商品コード='[IN1]'

DBブリッジマネージャクライアントランタイムとの連動はもちろん
お客様開発のハンディターミナルソフトとも連動可能!!
それが DBブリッジマネージャ

PCサイド ノンプログラミングを実現する

無線式ハンディターミナル
導入支援ソフトウェア

DB Bridge Manager™

- ・システム導入・運用にあたっては、事前に十分なテストを行ってください。
- ・本書の内容は、改良のため、将来予告無く変更する場合があります。
- ・本書の全部または一部を無断で複製することはできません。
- ・本書内に記載している製品名等の固有名詞は、弊社または各社の商標または登録商標です。

DBブリッジマネージャって何？

- 無線式ハンディターミナルからホストシステムのデータベースを簡単に更新・参照・追加することができるミドルウェアで、その名の通り無線式ハンディターミナルとデータベースをつなぐ橋(ブリッジ)渡しを行います。



特徴

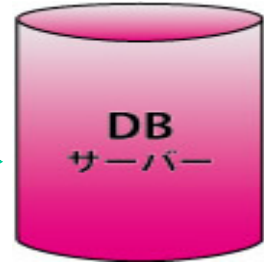
- DBブリッジマネージャは、TCP/IPでソケット通信ができるハンディターミナルであれば、**メーカー・機種**に関係なく接続でき、設定を変えることで様々なデータベースシステムに接続することができます。

特徴

カシオ社
ウェルキャット社
スタンダード社
デンソウェア社
CIPHER LAB社
ハネウェル社(HHP)
：
など



用途に合わせて各種ハンディを選べます



Access
SQL Server
Oracle
：
など

DBブリッジマネージャの設定を変えることによって、
各種データベースシステムに接続できます

特徴

- ハンディーターミナルからDBブリッジマネージャへの通信コマンド内に、SQL文を埋めこむことにより、あたかもハンディーターミナルからデータベースへ直接アクセスしている感覚で使用することができます。
- 使い慣れたSQL文がそのまま使えるので、特別なプログラミング技法や構文を習得する必要もありません。

特徴

指令コマンド + 商品名 FROM 商品マスタ WHERE 商品コード = 'ABC99999'

通信コマンド



DBブリッジマネージャ



特徴

指令コマンド + 商品名 FROM 商品マスタ WHERE 商品コード = 'ABC99999'

通信コマンド



指令コマンドには

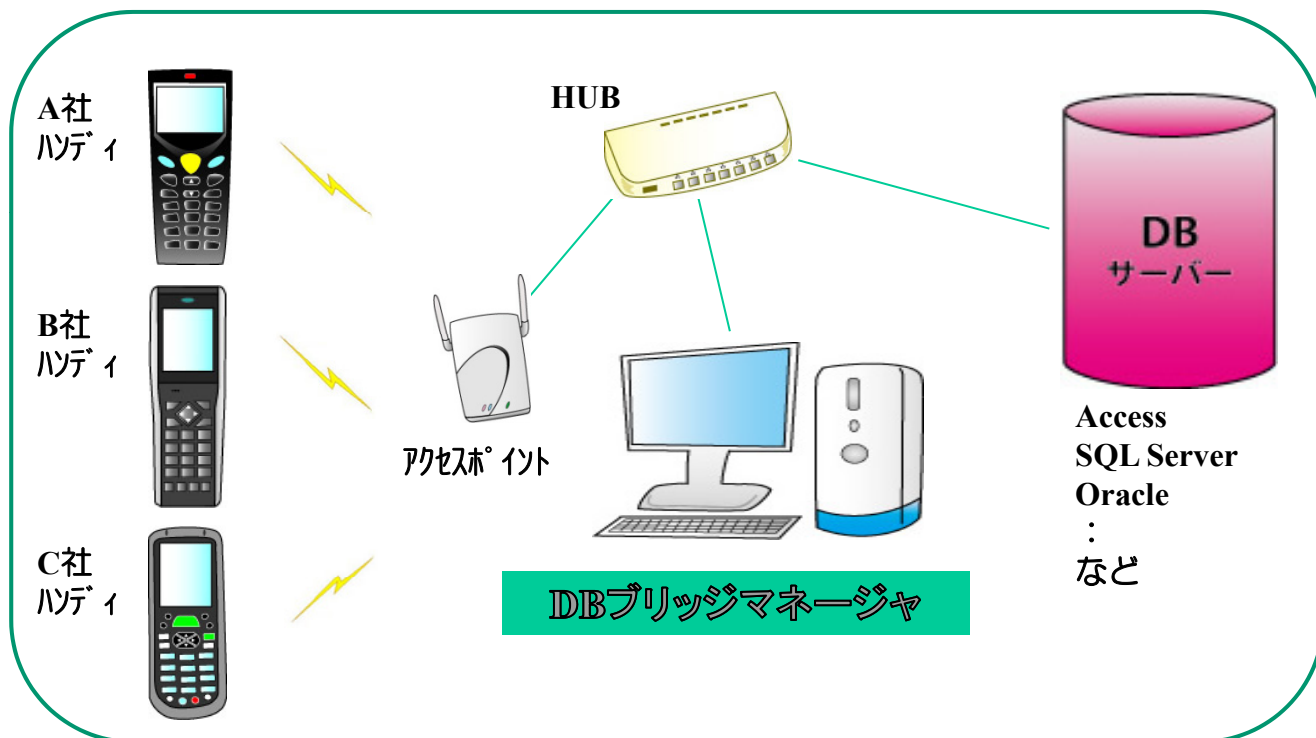
SQLのSELECT文、UPDATE文、INSERT文、DELETE文に相当するコマンドがあります。

指令コマンドの後ろに、SQL文の文字列を付加し通信コマンドとしてDBブリッジマネージャに送信します。



(*) DBブリッジマネージャクライアントランタイムは、指令コマンドを自動生成し、DBサーバーとの通信を行います。

システム構成例



メリット

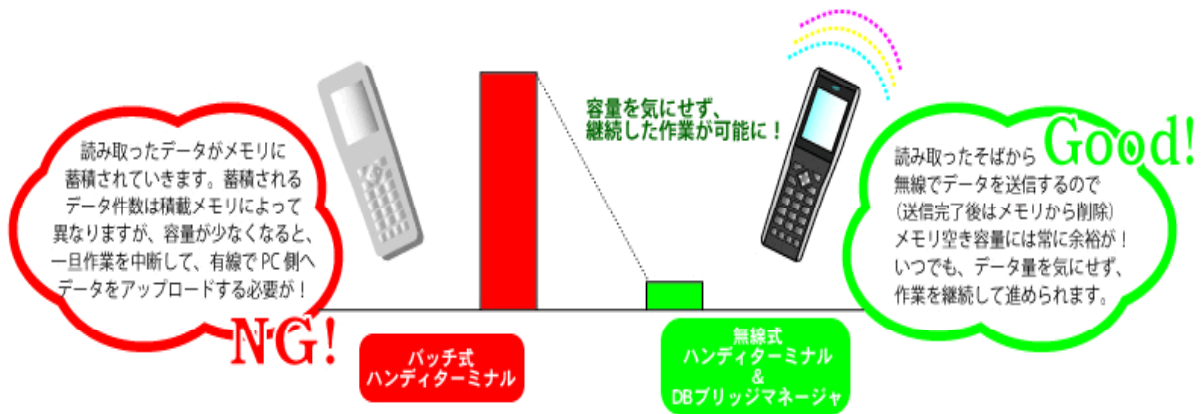
- ハンディターミナルで収集したデータに応じて、リアルタイムにデータベースの参照・更新などが行えるため、業務がスムーズ、且つスピーディに行えます。



メリット

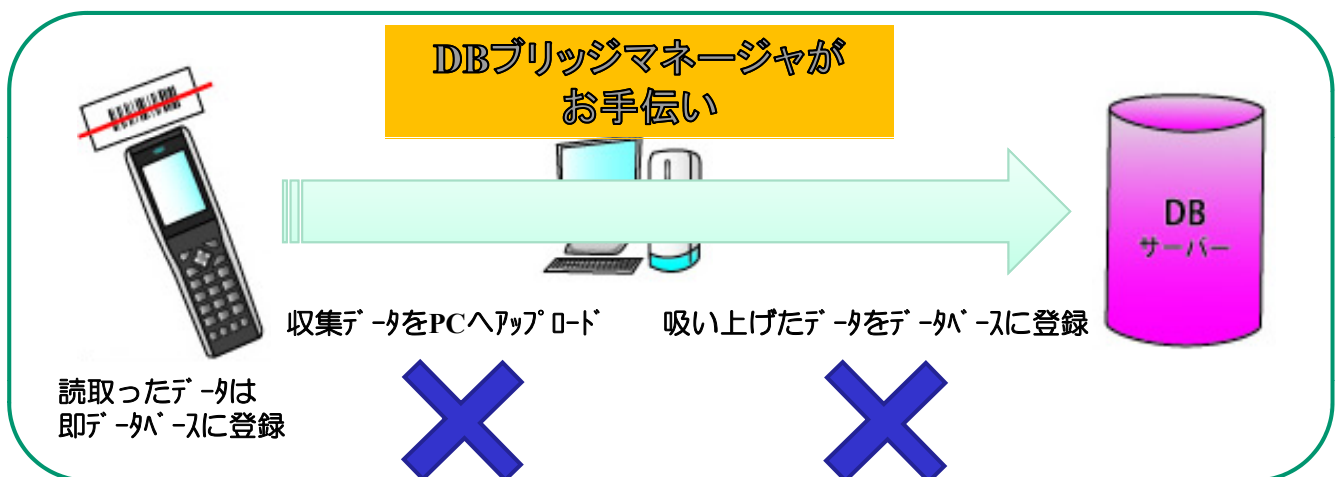
- 収集データやマスターデータは、ホストシステム上のデータベースなので、容量を気にすることなく運用できます。

メモリ使用量から比較してみると・・・



メリット

- バッチ式(メモリ式)のように収集したデータをホストシステムへ吸い上げたり、吸い上げたデータを加工する手間がなくなり作業工数を大幅に削減ができます。



メリット

- ホスト側のソケット通信、データベース接続に関するソフトウェア開発が必要なくなるため、プログラム開発にかかる時間とコストを大幅に削減できます。



簡単な設定

ネットワーク設定

データベース設定

エラー／ログ設定

ユーザ設定

ファイル送受信設定

DB Bridge Manager

ネットワーク設定 | データベース設定 | クライアント設定 | ファイル送受信設定 | エラー/ログ設定

ネットワーク設定

ネットワーク名: フルエスケープ名

サーバIPアドレス: 192.168.0.1

ローカルポート番号: 1024

タイムアウト時間: 5 分

データベース設定

ODBC データベース

UDLファイル名

ODBC データソース名

接続テスト

エラー/ログ設定

エラーが発生した場合、メールで通知する

送信メールサーバ(SMTP): [] ポート番号: 25

送信メールアドレス

受信メールアドレス

ログファイルの参照

ログファイルに保存するコマンド

<input checked="" type="checkbox"/> ログイン	<input checked="" type="checkbox"/> 列名一覧取得	<input checked="" type="checkbox"/> 更新	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル送信
<input checked="" type="checkbox"/> ログオフ	<input checked="" type="checkbox"/> 参照(件数)	<input checked="" type="checkbox"/> 追加	<input checked="" type="checkbox"/> ファイル受信
<input checked="" type="checkbox"/> テーブル一覧取得	<input checked="" type="checkbox"/> 参照(項目)	<input checked="" type="checkbox"/> 削除	

ユーザ設定

No.	ハンディターミナル名(ユーザ名)	パスワード

追加 | 編集 | 削除

保存 | 中止

ファイル送受信設定

Manager

データベース設定 | クライアント設定 | ファイル送受信設定 | エラー/ログ設定

サーバにファイルをアップロード(送信)する基準ファイルを選択してください

サーバにファイルをダウンロード(受信)する基準ファイルを選択してください

設定手順

➤ ネットワークの設定

The screenshot shows the 'DB Bridge Manager' window with the 'ネットワーク設定' (Network Settings) tab selected. The fields are as follows:

ホスト名	フルコンピュータ名
サーバーIPアドレス	192.168.0.1
ローカルポート番号	1024
タイムアウト時間	5 分

Buttons at the bottom: 保存 (Save), 中止 (Cancel).

使用するポート番号と
タイムアウト時間の設定だけ

設定手順

➤ データベースの設定

The screenshot shows the 'DB Bridge Manager' window with the 'データベース設定' (Database Settings) tab selected. The fields are as follows:

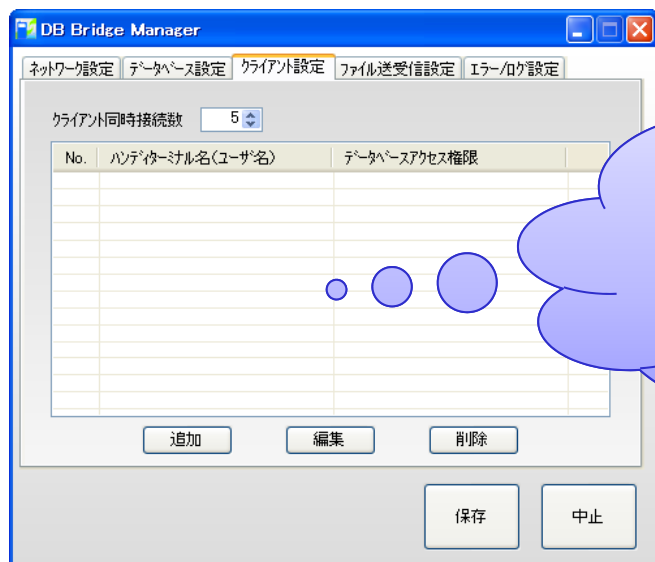
<input checked="" type="radio"/> OEL DB フォバイダ	UDLファイル名	選択	新規作成
<input type="radio"/> ODBC フォバイダ	データソース名	データソース	
タイムアウト時間	30 秒	接続テスト	

Buttons at the bottom: 保存 (Save), 中止 (Cancel).

データベースへ接続する
ための設定とタイムアウト
時間の設定だけ

設定手順

➤ クライアントの設定



DBブリッジマネージャへ
ログインするユーザ名と
パスワードを登録

設定手順

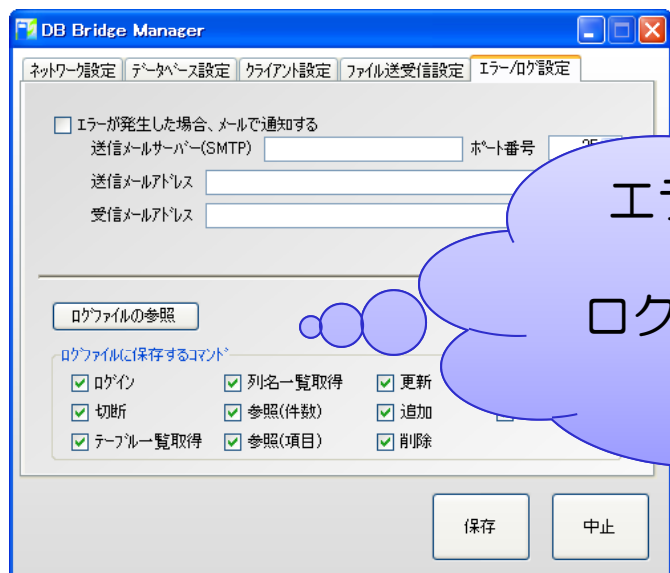
➤ ファイル送受信の設定



ハンディターミナルと
ファイル送受信を行う場合
の基準フォルダを設定

設定手順

➤ エラー／ログの設定

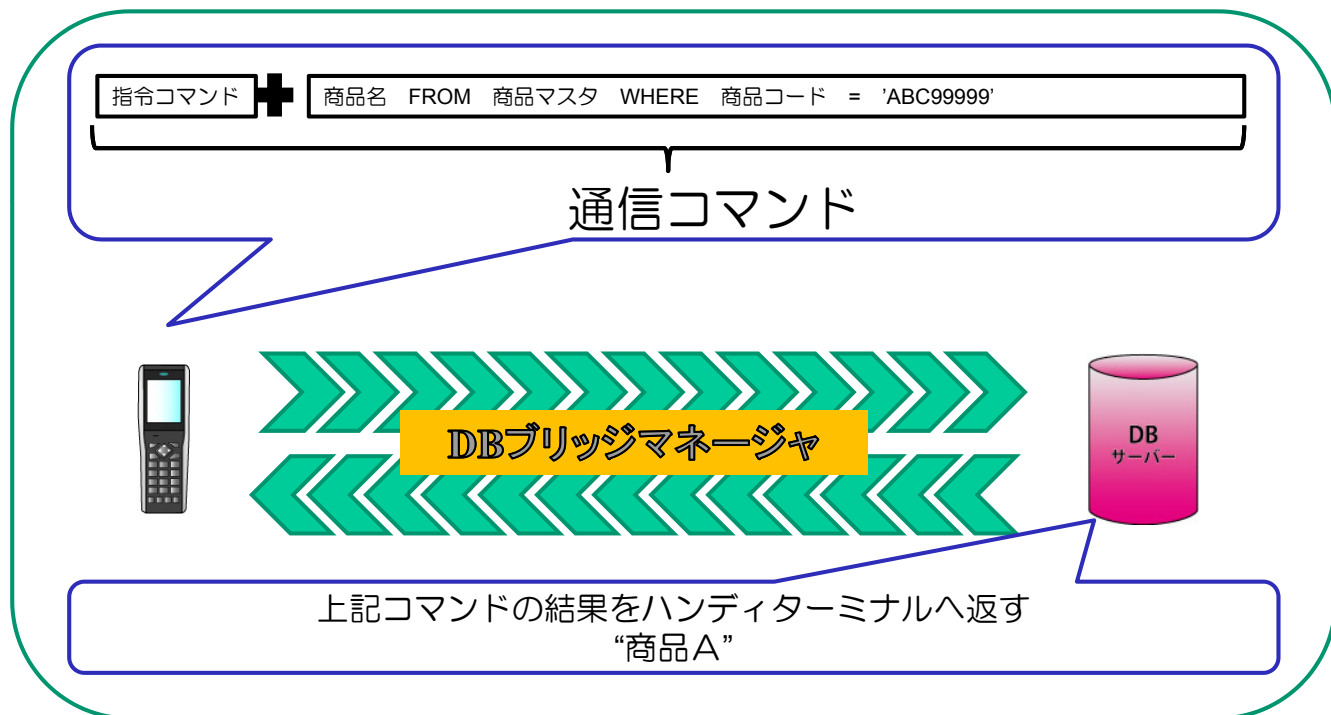


エラーが発生した場合の
メール通知機能や
ログファイル保存に関する
オプションを設定

あとは開始ボタンを押して
ハンディからの指令を待つだけ



ハンディターミナルからの指令



(*) DBブリッジマネージャクライアントランタイムは、指令コマンドを自動生成し、DBサーバーとの通信を行います。

機能

- ハンディターミナルからの要求をデータベースに伝え、データベースからの結果をハンディターミナルに返します。
- 使用できるコマンドはデータベースへの参照・更新・追加・削除とファイルの送受信です。

仕様

- サポートしているデータベースシステム
ADO.NETで接続できるOLE DBプロバイダまたはODBCドライバが提供されているデータベースシステム

接続確認済みデータベースシステム

- ・ Access
- ・ SQL Server 2005 Express
- ・ MySQL5.0
- ・ PostgreSQL8.3
- ・ Oracle9i など

(*) 最新情報は、弊社WEBサイトを参照ください。

- 同時接続クライアント数 最大30台

(*1) 同時接続クライアント数15台までを推奨。

(*2) 同時接続クライアント数 31台以上については、弊社までご相談ください。

動作環境

- 対応OS

Windows XP Service Pack 2以上

Windows Vista

※必須コンポーネント: .NET Framework 2.0

- 対応ハードウェア

上記OS、コンポーネントが動作する環境

(*) Microsoft社の.NET Framework2.0必須システムを参照

ハンディターミナル側ソフトウェア

➤ 各社無線式ハンディターミナルのサンプルプログラムを収録しています。

CIPER LAB 8061/8071 (CIPER-BASIC)

DENSO BHT-500 (BHT-BASIC)

STANDARD VDB-2410ELM (C言語、モンキーマジック)

CASIO DT-X7 (VB.NET)

WELCAT XIT-100-BR (C言語)

DBブリッジマネージャ価格表

型式	内容	税別価格
DBM-RT-BHT	BHT-500/600/800シリーズ対応クライアントランタイム	¥20,000 (*1)
DBM-HOST05	HOST 1ライセンス & 同時接続クライアント 5台	¥350,000 (*2)(*3)
DBM-HOST10	HOST 1ライセンス & 同時接続クライアント 10台	¥400,000 (*2)(*3)
DBM-HOST15	HOST 1ライセンス & 同時接続クライアント 15台	¥450,000 (*2)(*3)
DBM-HOST20	HOST 1ライセンス & 同時接続クライアント 20台	¥500,000 (*2)(*3)
DBM-HOST25	HOST 1ライセンス & 同時接続クライアント 25台	¥550,000 (*2)(*3)
DBM-HOST30	HOST 1ライセンス & 同時接続クライアント 30台	¥600,000 (*2)(*3)

(*1)クライアントランタイムは、ハンディターミナル1台につき、1ライセンス必要となります。

(*2)同時接続クライアントライセンスは、最大30ライセンス(推奨15台以下)です。それ以上をご希望の場合は、弊社担当までご相談ください。

(*3)インストール費用・現地調整費用などは含みません。





EMS 50497/ISO(JIS Q) 14001:2004

人にやさしく、地球にやさしく

Thoughtfully, Living with the Earth



WELCOM DESIGN
<http://www.e-welcom.com/>

ウェルコムデザイン株式会社

本社 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル 〒651-2242

Phone. 078-993-6010(代) Fax. 078-993-6020

東京 東京都文京区湯島3-14-9 湯島ビル 〒113-0034

Phone. 03-3836-9411(代) Fax. 03-3836-9412

